

「指導と評価の一体化」のための学習評価（中学校国語科のポイント）

「単元名」は、どのような言語活動を行うのが生徒に分かるように工夫します。

**Step1**  
単元で取り上げる指導事項の確認

**単元名**  
「走れメロス」を読んで、登場人物の言動の意味を語り合おう  
第2学年 C読むこと

**内容のまとめり**  
第2学年  
〔知識及び技能〕(2)情報の扱い方に関する事項  
〔思考力、判断力、表現力等〕「C読むこと」

**Step2**  
単元の目標と言語活動の設定

- 1 単元の目標**
- (1) 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。  
〔知識及び技能〕(2)イ
  - (2) 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えることができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア
  - (3) 登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)イ
  - (4) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。  
〔学びに向かう力、人間性等〕

・(1)(2)(3)は、文末を「～できる。」  
・(4)は、文末を「～しようとする。」

**Step3**  
単元の評価規準の設定

- 2 本単元における言語活動**  
「走れメロス」を読み、登場人物の言動の意味について考えたことを語り合う。  
(関連：〔思考力・判断力・表現力等〕C(2)イ)

国語科では、指導事項に示された資質・能力を確実に育成するため、基本的には「内容のまとめりごとの評価規準」が「単元の評価規準」となります。

・文末を「～している。」

**3 単元の評価規準**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている。(2)イ	① 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。(C(1)ア) ② 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(C(1)イ)	① 積極的に(1)登場人物の言動の意味などについて考え(3)、学習課題に沿って(2)考えたことを語り合おうとしている(4)。

国語では、指導する一領域を「(領域名)において」と明記します。

「評価する観点」「評価方法」「おおむね満足できる状況(B)」を示します。

(1)粘り強く積極的に、進んで、粘り強く等>  
(2)自らの学習の調整<学習の見通しをもって、学習に沿って、これまでの学習を生かして等>  
(3)「知識・技能」や「思考・判断・表現」において、特に粘り強さを発揮してほしい内容を明確に  
(4)自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動を明確に

**Step4**  
単元の指導と評価の計画の決定

**4 指導と評価の計画（全5時間）**

時	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	○「走れメロス」を通読し、話の展開や内容の大体をつかむ。	[思考・判断・表現] ①	ワークシート
2	○3人グループになり、各自が担当する登場人物を決め、人物の設定の仕方や、言動とその意味について考えたことをワークシートにまとめる。		
3	○グループで、各自がまとめたワークシートを模造紙に貼り、記号等を用いて登場人物同士の言動の関係について整理する。	[知識・技能] ①	模造紙
4	○前時で整理した関係の中から更に考えたいものを各自一つ選び、その関係が話の展開などにどのように関わっているかについて考え、語り合う。	[主体的に学習に取り組む態度] ①	観察
5	○前時で語り合った登場人物同士の言動の関係と話の展開との関わりについて、考えたことをノートに文章でまとめる。 ○「走れメロス」を読み直し、単元で学習したことについて確認する。	[思考・判断・表現] ②	ノート

・単元のどの段階でどの評価規準に基づいて評価するかを決定します。

**Step5**  
評価の実際と手立ての想定

・「おおむね満足できる」状況(B)の例、「努力を要する」状況(C)への手立てを想定します。

記録に残す評価と改善に生かす評価を明確に区別する等、工夫します。

【単元の流れ】

- ・「知識・技能」や「思考・判断・表現」において、特に粘り強さを発揮してほしい内容を明確にします。
- ・自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動を明確にします。

時	学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1 ・ 2	<p>○学習のねらいや進め方をつかみ、学習の見通しをもつ。</p> <p>○「走れメロス」を通読し、話の展開や内容の大体をつかむ。</p> <p>○3人グループになり、メロス、セリヌンティウス、ディオニスの中から各自が担当する登場人物を決める。</p> <p>○担当する登場人物の言動に着目して文章を読み直し、登場人物の設定の仕方について考え、ワークシートにまとめる。</p> <p>○登場人物の言動を書き出し、そこから考えた言動の意味をワークシートに記入する。</p> <p><b>【資料】参照</b></p>	<p>・学習活動のイメージをもたせるために、「少年の日の思い出」を用いて、教師がワークシートに記入するモデルを示す。</p> <p>・登場人物の設定の仕方についてまとめる際には、この物語にとって重要と考えられる登場人物の性格や言動の特徴、他の登場人物との関係について、文章全体を踏まえて捉えることを確認する。</p> <p>・ワークシートの矢印内に各自で場面を入れさせ、話の展開を確認しながら言動を抜き出すよう指導する。</p>	<p><b>【思考・判断・表現】①</b> <u>ワークシート</u></p> <p>・ここでは、文章全体を踏まえて、担当する登場人物の「人物像」と「他の人物との関係」について正確に捉えているかを確認する。</p> <p><b>*本評価は、Aと判断する状況については、単元終了後のテストで判断する。</b></p>
3	<p>○登場人物ごとに作成した3枚のワークシートを模造紙に貼付する。</p> <p>○様々な関係の表し方について理解する。</p> <p>○3人の登場人物の言動がどのように関係しているのかについて、言動の意味を踏まえながら模造紙に整理する。</p>	<p>・様々な関係を表すために、記号等を用いたり、丸や四角などで囲んだりすることを理解させる。</p> <p>・各自に異なる色のペンを使用させ、誰がどの関係について記したのかが分かるようにする</p>	<p><b>【知識・技能】①</b> <u>模造紙</u></p> <p>・ここでは、登場人物同士の言動の関係を、記号等を用いて表しているかを確認する。</p>
4	<p>○前時で整理した3人の登場人物の言動の関係の中から、話の展開にどのように関わっているかについて更に考えたいものを一つ選ぶ。</p> <p>○選んだ関係と話の展開との関わりについて考えたことをノートに書く。</p> <p>○同じ関係を選んだ者や他の関係を選んだ者と語り合い、考えたことをノートにメモする。</p>	<p>・第3時に模造紙に記入した内容の中から選ばせる。</p> <p>・ワークシートや模造紙に記した内容など、第1時から第3時までの学習を振り返らせながら考えを整理させる。</p> <p>・グループごとに作成した模造紙を読ませ、互いの解釈について確認させる。</p>	<p><b>【主体的に学習に取り組む態度】①</b> <u>観察</u></p> <p>・ここでは、登場人物同士の言動の関係が、話の展開とどのように関わっているかを語り合ったり、気付いた内容をノートにメモしたりしようとしているかを確認する。</p>
5	<p>○前時の活動を通してメモしたことも踏まえて、自分が選んだ関係について考えたことをノートに文章でまとめる。</p> <p>○数名発表する。</p> <p>○「走れメロス」を読み直し、単元で学習したことについて確認する。</p>	<p>・自分が選んだ関係が話の展開においてどのような意味をもつのかについて、自分の解釈を文章にまとめさせる。</p> <p>・意図的に指名する。発表に対する意見や質問などを促し、教師も適宜生徒と対話して考えを深めさせる。</p>	<p><b>【思考・判断・表現】②</b> <u>ノート</u></p> <p>・ここでは、登場人物同士の言動の関係が、話の展開においてどのような意味をもつのかを考えているかを確認する。</p>

## 【資料】ワークシート（A3判）と記入する内容のイメージ

「走れメロス」を読んで、登場人物の言動の意味を語り合おう

年 月 日  
2年 組 氏名

**登場人物の言動の意味**

王のことが辛い。「ふるれた王だ。まかせておけぬ」と重れることで、メロスの怒りが強調されている。

メロスが単純で、持て成しは嫌い。

王にわかっただけで、自分を犠牲にするしかない。

**登場人物の言動について考えたことを書く欄**

こんなに人を信じようとは思えない王には何を言ってもおどかだ。

まっすぐなメロスでも、妹と過ごす時間は心地よく、ついつい約束を忘れそうになる。

妹にこう言うことで、自分を奮い立たせている。人を信じることを証明するには、自分が王に言ったとおりに生きなければならないと、自分に言い聞かせているのかも。

**登場人物の言動**

セリマンティウスも、一度だけメロスを襲ったことを告白している。

家人を人質にして、どうでもいいけど一度でも思ってしまっただけで後悔している。「一度だって後悔したことはなかった」とつながっている。

メロスは悔しく、じだんだ踏んだ。ものも言いたくなくなった。

メロスは無理に笑おうと努めた。

少しでも長くこの家にぐずぐずとどまっていたかった。

メロスほどの男にも、やはり未練の情というものはある。

「おまえの兄のいちばん嫌いなものは、人を疑うことと、それから、うそをつくことだ。～おまえの兄は、たぶん偉い男なのだから、おまえもその誇りをもっていろ。」

**「シラクスの町」、「王城」など、場面を書く欄**

シラクスの町  
王城  
村

牧人の村  
シラクスの町  
王城  
村

**担当する登場人物の言動を書き抜く欄**

牧人の破る走る

自分の理念を思い出し、未練のメロスが戻った。

メロスはあきらめ、裏切りそうになっている。ずっと、よい友だちであっ

「あ、何もかもばかばかしい。セリマンティウスよ、許してくれ。～私にはたの、君を救くつもりは、みじんもな

私に後悔を悔いなければならぬ。

あ、何もかもばかばかしい。

セリマンティウスよ、許してくれ。～私にはたの、君を救くつもりは、みじんもな

私は王の言うままに

梅ロスはあきらめ、裏切りそうになっている。ずっと、よい友だちであっ

## 【知識・技能の評価のポイント】

『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説国語編』81 ページ

関係の様々な表し方とは、聞いたり読んだりして得た情報や自分のもっている情報を、図や絵、記号などを用いて整理することである。

このことを踏まえ、事例の第3時では、登場人物の言動と言動がどのように関わり合っているのかを可視化して整理する学習活動を行う例が示されています。

模造紙に解釈や記号等を記入する前に、「情報と情報との関係の様々な表し方」について、次のように全体で確認する等の手立てを工夫しましょう。

### 【関係の表し方の例】

- ・ 同じ意味内容や似たような意味内容をもつもの同士は、「＝」を記入する。
- ・ 反対の意味内容をもつもの同士は、「←→」を記入する。
- ・ 原因と結果の関係を表すもの同士は、「→」を記入する。
- ・ 上記に含まれない関係を表す場合は、「-----」、「――」などを記入する。

なお、グループ内の各生徒に異なる色のペンを持たせて学習活動を行わせることで、グループ活動における個別の学習状況について明確に評価できるようにする。

第3時 [知識・技能] ①では、「情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っている」状況を、「登場人物同士の言動の関係を、記号等を用いて表している」姿（「おおむね満足できる」状況（B））と捉え、評価します。

## 【思考・判断・表現の評価のポイント】

本事例では、ワークシートの中央部に、登場人物の設定の仕方を捉えるために、担当する人物の「人物像」と「他の人物との関係」を記入する欄を設けています。第2時において、この二つの欄に記述されている内容を確認して、評価することができます。

また、その際に [思考・判断・表現] ①の「『読むこと』において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている」状況を、「文章全体を踏まえて、担当する登場人物の『人物像』と『他の人物との関係』について正確に捉えている」姿（「おおむね満足できる」状況（B））と捉えています。



【生徒Xの記述】

【生徒Yの記述】

人物名 **メロス**

人物像 正義感あふれる村の牧人。  
自分の信念を貫くタイプ。  
他の人物との関係

王城のシーンから刑場まで、  
王とは敵対する関係。セリ  
ヌンティウスとは親友  
だが途中揺らぐ。

人物名 **セリヌンティウス**

人物像 シラクスの町の優しい石工。  
他の人物との関係

メロスと竹馬の友。

文章全体を踏まえて「正義感あふれる」などの人物像を正確に把握した上で、時間の経過に沿って他の人物との関係をまとめていることから、「おおむね満足できる」状況（B）と判断できます。

「メロスと竹馬の友。」という記述は、文章全体を踏まえてメロスとの関係をまとめたものとは言えないため、「努力を要する」状況（C）と判断し、「私はこの三日の間、たった一度だけ、ちらと君を疑った。生まれて初めて君を疑った。」というセリヌンティウスの言葉に着目させ、「セリヌンティウスが登場する王城と刑場の場面での言葉を見直して、関係をもう少し丁寧に書いてみよう。」と指導しました。

生徒Yは、教科書の叙述を確認し、「途中で疑うが、最後には全てを語り合える信頼関係になる。」と書き加え、その上で、人物像についても見直し、「うそをつかない正直な石工。」と書き直しました。これらの記述は、文章全体を踏まえた上で正確に人物像を捉えるとともに、二人の関係を表しているため、「おおむね満足できる」状況（B）と判断します。

単元の途中における評価で、「努力を要する」状況（C）が捉えられる生徒に対して、「おおむね満足できる」状況に引き上げる努力をすることが重要です。

【主体的に学習に取り組む態度のポイント】

第4時で、[主体的に学習に取り組む態度]①の「積極的に登場人物の言動の意味などについて考え、学習課題に沿って考えたことを語り合おうとしている」状況を、「登場人物同士の言動の関係が、話の展開とどのように関わっているかを語り合ったり、気付いた内容をノートにメモしたりしようとしている」姿を「おおむね満足できる」状況（B）と捉え、評価しています。

- ☆ 登場人物の言動の関係を考えようと、自分と同じ関係を選んだ者を探して語り合おうとする姿 … 粘り強さ
- ☆ 次時で文章にまとめるために、他の生徒と語り合う中で気が付いたことをノートに記述している姿 … 自らの学習の調整
- 「十分満足できる」状況（A）…これまで学習した他の作品のことを想起して話したり、異なる考えをもつ友達を数名集めてグループで対話をしようとしたりする状況。（興味の広がり、集団への寄与）
- 「努力を要する」状況（C）…対話を一度しようとしただけで、他の生徒の考えを参考にしようとする姿が見られない状況。→単元の学習課題や学習の見通しについて再度確認するように指導する等の手立てを講じる。

## 【評価メモの例】

以下のような【評価メモ】を作成し、生徒の学習の状況を整理する際、「おおむね満足できる」状況（B）と判断する状況の例（姿）と、「十分満足できる」状況（A）と判断するポイントの例を示した点に特徴があります。各評価の観点において、「Bと判断する状況」を満たした上で、「Aと判断するポイントの例」のいずれかを満たしていれば「十分満足できる」状況（A）としています。

【思考・判断・表現】については、単元における観点別学習状況の総括を行っています。例えば、生徒Yについては、本単元で重点的に指導し評価する内容を踏まえ【思考・判断・表現】の「単元における評価」は「おおむね満足できる」状況（B）と総括しています。

観点	[知識・技能]		[思考・判断・表現]			[主体的に学習に取り組む態度]	
Bと判断する状況の例	①情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使っているか。	単元における評価	①文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えているか。	②登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈しているか。	単元における評価	①積極的に登場人物の言動の意味などについて考え、学習課題に沿って考えたことを語り合おうとしているか。	単元における評価
評価の材料	模造紙		ワークシート	ノート		観察	
Aと判断するポイントの例	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の記号を用いて、様々な角度から関係性を判断している。（知識・技能）</li> <li>話の展開を踏まえながら文章全体の中で登場人物の行動の意味について考えている。（思考力・判断力・表現力）</li> <li>これまで学習した他の作品のことを想起し、異なる考えを持つ生徒と対話をしようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）</li> </ul>						
生徒X	B	<b>B</b>	B	B	<b>B</b>	B	<b>B</b>
生徒Y	A	<b>A</b>	C	B	<b>B</b>	A	<b>A</b>

## 【テストの工夫】

授業で育成を目指した資質・能力（指導事項）の定着を確認する問題を作成することが重要です。

<例> 「走れメロス」の全文を配布し、授業で取り上げなかったフィロストラトスについて出題した問題の一例

**【登場人物同士の言動の関係を捉える問題例】**

次のフィロストラトスの言葉は、他の登場人物のどのような言動と関係していると思いますか。あとの条件1から条件3にしたがって、あなたの考えを書きなさい。

「やめてください。走るのをやめてください。今はご自分のお命が大事です。あの方は、あなたを信じておりました。刑場に引き出されても、平気でいました。王様がさんざんあの方をからかっても、メロスは来ますとだけ答え、強い信念をもち続けている様子でございました。」

条件1 関連していると考えるメロス、セリヌンティウス、ディオニスのいずれかの人物の言動を引用すること。

条件2 フィロストラトスの言葉とどのように関係しているかについて説明すること。

条件3 百五十文字から二百字程度で書くこと。

（正答例）

○メロスの言動を引用  
 「それだから、走るのだ。信じられているから走るのだ。」というメロスの言葉と関係している。このフィロストラトスの言葉によって、メロスはセリヌンティウスが自分を信じていたことを知った。そのことによって、メロスは、走るのを止めようと考えた自分を恥ずかしく思い、友のために約束を守るうとする決意を強めて「間に合う、間に合わぬは問題でないのだ。」と最後の力を振り絞って走っているのだと思う。（百九十文字）

○セリヌンティウスの言動を引用  
 「私はこの三日の間、たった一度だけ、ちらと君を疑った。生まれて初めて君を疑った。」というセリヌンティウスの言葉と関係していると思います。このフィロストラトスの言葉によって、周りから見たセリヌンティウスはメロスが戻ってくることを信じ切っているように見えていたことになりました。このことが、実はセリヌンティウスも心の中では一度だけメロスを疑っていたということを強調しているからです。（百八十八文字）

○ディオニスの言動を引用  
 デイオニスが最後に言った「おまえらは、わしの心に勝つたのだ。」というセリフの「おまえら」には、走りきったメロスだけでなく、王のからかいに動じなかったセリヌンティウスをたたえる気持ちも込められている。このフィロストラトスの言葉があるからこそ、ディオニスの最後の言葉に込められた気持ちを読み取ることができるのである。（百五十六文字）

☆ 資質・能力（指導事項）の定着を確認することが目的なので、「走れメロス」とは異なる文章による問題を作成することも考えられます。